

R3-15

効果的な避難訓練に向けた事前学習の充実

- 管内 檜山管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 避難訓練の効果的な実施に向けた防災教育の推進
- 2 災害時の対応に向けて、自分事として考える防災教育の推進

取組の実際

ねらい

- 避難訓練が効果的な取組となるよう、事前に、避難訓練の意義やシェイクアウト訓練の方法を学ぶとともに、災害発生状況に応じて、主体的に判断して行動する資質・能力の育成を図る。

内容

1 災害発生状況に応じたイメージトレーニングの実施

地震発生直後に自分の周りでどのようなことが起きているか、地震で揺れているときや揺れが収まったときどのような行動をとるとよいのかなどについて調べ、意見を出し考えを深めた。



【意見を出し合う様子】

2 災害時のライフライン代用品の作成

新聞紙を使って非常時に使えるコップ、皿、スリッパを作成した。また、新聞紙で作成したものを実際に使ってみたり、身に付けたりして、避難時に災害から身を守りながら、どのように工夫して使うか意見を出し合った。

3 災害時の対応を自分事として考える取組

災害時の実際場面を想定した問題例に対し、自分が判断した理由や考えを交流した。自分の考えを友達に説明し、納得させることができた場合にはポイントを獲得するなど、ゲーム性をもたせて主体的に学習できるようにした。

(問題例)

あなたは食料担当の職員です。避難所には1000人が避難しているとの確かな情報が得られました。現時点で確保できた食糧は500食、以降の見通しは今のところなし。まず500食を配りますか？

Yes（配る） ・ No（配らない）



【新聞紙で作成したスリッパ】

【災害時の実際場面を想定した問題例】

成果と課題

- 避難訓練の事前学習を通して災害時に身を守る基本的な行動を理解するとともに、具体的な災害場面における主体的な行動について話し合うことを通して、防災に対する意識を高めるなど、効果的な学習を行うことができた。
- これまでも地域の関係機関と連携して避難訓練を行ってきたが、主体的に判断して行動する資質・能力の育成に向けて、一層の連携強化を図る必要がある。